

III

学校における 防災教育に関する計画

1 小学校（佐伯市立松浦小学校）

(1) 防災教育全体計画

平成24年度 防災教育全体計画

佐伯市立松浦小学校



(2) 1・2年の計画

① 1・2学年の目標

- 学校の施設や通学路の様子などに関心を持ち、災害時の危険について理解し、安全な登下校や学校生活を送れるようにする。
- 地震での建物の倒壊、物の落下や転倒などの危険について理解し、災害に応じた行動の仕方を身に付け、安全に避難できるようにする。
- 命の大切さを知り、災害時への備えとして、非常持ち出し品や避難場所などについて考え、家族と話し合うなど防災意識を高めるようにする。

② 地震・津波に関連する教科等及び指導内容

教科等	単 元	地震・津波と関連する内容
生活科	1年：いちにさんぽでさんさんおひさま 2年：たんけんしよう	○学校の周りや通学路の様子などに関心を持ち、災害時の危険について知る。 ○安全に避難できるよう、災害に応じた行動の仕方を身につける。
道 徳	1年：みんなでまもろう・きちんとね 2年：まもろうね	○身の回りを整え、わがままをしないで協力しようとする心を養う。 ○命の大切さについて考え、残された家族の思いを知る。
学級活動	安全な生活	○授業中や登下校中などの様々な場面において、災害時、安全に避難できるよう行動の仕方を身につける。
学校行事	避難訓練	○災害に応じた行動の仕方を身につけ、安全に避難する。

③ 学習の流れ

流 れ	教科等	ね ら い
知 る	生活科 学級活動 道徳	○災害についての簡単な知識と避難行動のしかたを知る。 ○命の大切さについて考え、残された家族の思いを知る。
やってみる ためす	学校行事 生活科	○散歩・探検や避難訓練を通して、行動の仕方を体験し、万が一の備えについて心がけるようにする。また、体験を家庭にもつなげる。
深める 高める	生活科 道徳 学級活動	○散歩・探検・避難訓練などで学んだことをもとに、日常生活の心構えについてまとめ、防災意識を高める。

(3) 3・4年の計画

① 3・4学年の目標

- 学校や地域での災害時の危険について理解し、安全な行動ができるようにする。
- 学校、自宅、地域において、地震での建物の倒壊や物の落下・転倒や津波の危険について理解し、災害に応じた避難や行動の仕方を身に付けるようにする。
- 命の大切さを知り、災害時への備えとして、非常用持ち出し品や避難場所等について考え、家族と話し合う等防災意識を高める。

② 地震・津波に関連する教科等及び指導内容

教科等	単 元	地震・津波と関連する内容
総合的	3年：地震や津波から自分たちの命を守ろう 4年：地震や津波から自分たちの命を守ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域で地震が起こった時の自分たちの命の守り方を考え、発信する ・東北大震災の映像を視聴し、地震や津波のこわさを理解する。 ・地震や津波がおきた時の避難場所や防災用品を知り、命の守り方を考える。 ・地震や津波の起こり方を理解する。
社会	3年：わたしたちの町 4年：安全なくらしとまちづくり、わたしたちの県のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域における避難場所を確認し避難の仕方について考える。 ・過去の地震や津波による被災状況を知り、予防策を考える。 ・沿岸地域の地形やその特徴として、地震や津波が多いことを理解する。
道徳	3年：お母さんかないで 4年：僕の生まれた日 誠の碑	<ul style="list-style-type: none"> ・命について考え、家族の大切な存在である自分の命を大切にしようとする。 ・誕生したときの家族の喜びを知り、家族の大切な存在である自分の命を大切にしようとする。 ・命の大切さに気づき、自らもそれを守り、前向きに生きようとする。
学校行事	避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練において地震時の避難方法について理解し、安全に行動する。 ・津波が発生したときの避難方法について理解し、安全に行動する。

③ 学習の流れ

流 れ	教科等	ね ら い
知 る	総合的な学習の時間 社会 道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○地震や津波の映像を見ることによって、地震や津波の怖さを理解する。 ○地震や津波の起こり方を理解する。 ○地域の避難場所や防災用品を知り、命を守る行動の仕方を理解する。 ○過去の地震や津波による被災状況を知る。 ○沿岸地域の地形の特徴として、地震や津波が多いことを理解する。 ○自分の命の大切さを知る。 ○自分が誕生したときの家族の喜びを知る。
やっ っ て みる ため す	学 校 行 事 社 会	<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練を通して、安全に避難する行動の仕方を確認する。 ○避難場所の見学から地域に応じた安全な行動の仕方について考え実践できるようにする。 ○地震や津波の予防策を考える。
深 め る 高 め る	総 合	<ul style="list-style-type: none"> ○今まで学んだことから、日常生活の心がまえや備えについてまとめ、防災意識を高める。

(4) 5・6年の計画

① 5・6学年の目標

- 地震や台風、津波、などの自然災害について正しく理解し、様々な場面で発生する危険を予測して、自分の命を守るための安全な行動が、素早くとれるようにする。
- 通学路を中心とした地域の危険箇所や避難経路、避難場所について調べ、オリジナル防災マップを作成することで、非常時の行動について考えることができる。
- 津波警報や避難勧告、緊急地震速報のシステムや意義を理解し、その活用を図る態度を養う。

② 地震・津波に関連する教科等及び指導内容

教科等	単 元	地震・津波と関連する内容
社会	5年 大きな地震が起きたら 6年 暮らしと政治を調べてみよう	○緊急地震速報が届く仕組みについて理解し、その活用について考えることができる。 ○災害時の政治のはたらきとして、被災者支援等を教え、過去の震災の被害や復興までの道りを調べ、地域の防災まちづくりについて考えることができる。
理科	5年 台風と天気の変化 流れる水のはたらき 6年 大地のつくりと変化 地震による大地の変化	○洪水や津波からまちを守るための施設として、護岸工事や防潮堤工事が行われていることを紹介することができる。 ○地震の仕組みと被害の様子を理解することができる。 ○地震の後には津波が来るということを理解できる。 ○実験中に地震が発生した場合に起こりうる事故とその予防や対応の仕方を理解することができる。
国語	5年 自分を中心人物にして 物語文を書こう 6年 自分の考えを発信しよう	○地震・津波をテーマにした防災物語を作ることができる。 ○地震が発生したことに触れ、その被害について調べ、その対応について自分の考えをまとめ、発信する。
保健	けがの防止 けがの手当て	○地震や津波が来たらどんな怪我をする可能性があるのか、またそれを防ぐためにはどうしたらよいかを考えることができる。
家庭	作ってみよう、調べてみよう	○地震や津波が発生した場合に、“炊き出し”を自分達で作ることができるように調理の仕方を理解することができる。
総合的な学習の時間	5年 地震や津波から身を守ろう。 6年 松小祭りで、地域の方々に防災を呼びかけよう。	○地震や津波から身を守ることについて調べ、発信することができる。 ○防災キャンプや調べ学習を通して学んだことをもとに松小祭りで地域の方々に防災を呼びかけることができる。
学校行事	避難訓練	○災害に応じて主体的に行動し、安全に避難することができる。
学級活動	心身ともに健康で安全な生活態度や習慣	○自然災害等に対しての心構えや適切な行動をとることができる。

③ 学習の流れ

流 れ	教科等	ね ら い
知 る	社会科	○災害が起こった時の市役所や県庁の救援活動、災害復旧の様子などを具体的に調べ、そこには地方公共団体や国の政治のはたらきが反映していることを理解できるようにする。
	理科	○火山の噴火によってできた岩石や土地のでき方を調べる過程において、火山の噴火の危険等について、理解できるようにする。
	家庭科	○安全に留意して、用具、燃料やこんろ等を取り扱うことができるようにする。
	総合的な学習の時間	○南海トラフによる巨大地震について調べたり、ビデオを見たりして、地震や津波について理解することができる。
やってみる ためす	体育科	○生活安全、交通安全、災害での事故防止について理解できるようにする。
	総合的な学習の時間	○地震や津波の怖さ、地震や津波から身を守る方法についてまとめ、全校児童が地域の人に発信することができる。
深める 高める	総合的な学習の時間	○発信した成果や課題を通して、今後の防災についてのあり方を考え、実践することができる。防災マップ作りを通して、防災意識を高める。
	道徳	○具体的な資料を活用して、生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する心や社会に奉仕する心を育てる。
	特別活動	○学級活動において、災害時に自分自身が安全に避難するとともに、下級生の安全に気を配ったり、大人への通報の仕方など、二次災害を防ぐ態度や行動の仕方について取り上げる。 ○学校行事の避難訓練において、災害の種類や程度に応じた安全な避難行動ができるとともに、通報など二次災害の防止等についても体験的に理解できるようにする。 ○自然教室、キャンプ等の活動の際に野外炊事、火起こし、飲料水の確保、止血などの簡単な応急手当などを体験する機会を設ける。